

第2期 中間報告書

2009年4月1日から2009年9月30日まで



株主優待制度について

セガミメディクス、セイジョー両社の店舗
でご利用いただけるお買物優待券を以下の
基準により贈呈いたします。

保有株式数	優待内容
100株以上 500株未満 ▶▶▶▶	お買物優待券 2,000円分
500株以上 1,000株未満 ▶▶▶▶	お買物優待券 3,000円分
1,000株以上 ▶▶▶▶	お買物優待券 5,000円分



なお、株主様のご希望により、「お買物優待券」の全部と引き換えに同等額の「ギフトカタログ」への交換をいたします。

対象株主

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された株主様を対象といたします。

今回(第2四半期)は「お買物優待券」は同封しておりません。年1回の贈呈となりますのでご了承ください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-7111(通話料無料)

特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話及びインターネットでも24時間承っております。

フリーダイヤル 0120-244-479(本店証券代行部)
フリーダイヤル 0120-684-479(大阪証券代行部)
<URL> <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

公告方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。

単元株式数 100株

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。



ホームページ紹介

当社の詳しい情報はホームページで
ご覧いただけます。

<http://www.cocokarafine.co.jp>



代表取締役会長 瀬上 修 (右)
代表取締役社長 塚本 厚志 (左)

株式会社ココカラファイン ホールディングスは2009年9月30日をもちまして、第2四半期(2009年4月1日から2009年9月30日まで)を終了いたしました。ここに中間報告書をお届けするにあたり、この半年間の当社へのご支援をいただきました株主の皆様へ厚く御礼を申し上げます。

当第2四半期は改正薬事法による規制強化および景気悪化による消費低迷という厳しい環境でしたが、業績面では前年同期比で増収増益を達成し、引き続き好調を維持することができました。

今後も統合によるシナジー効果を一層高め業績向上に努めてまいります。

引き続き当社に対してご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2009年12月

ココカラファインIRニュース

当社グループの活動を皆様によりご理解いただけるよう、当第2四半期累計期間(2009年4月1日から2009年9月30日まで)のIRニュースをご紹介します。

- 4月**  セガミメディクス株式会社が金光薬品株式会社と業務提携。プライベートブランド商品の相互供給や調剤薬局の運営ノウハウの情報交換などを開始。
-  2009年3月期決算発表。
- 5月**  セガミメディクス株式会社が九州エリアに展開している株式会社ドラッグイレブンの店舗において、PET/CT検査紹介業務を開始。
-  2009年3月期決算説明会を開催。
- 6月**  第1回定時株主総会を開催。
- 8月**  株式会社セイジョーがイービストレード株式会社ならびに、DIXI CO.,LTD.とロシアに合併会社「SEIJO FAR EAST LTD.」を設立。
→詳しくはP5をご覧ください。

 セガミメディクス株式会社がサモアバイオ社への出資を通じて、日本企業で初めて中国でのドラッグストア事業展開を決定。
→詳しくはP5をご覧ください。

 セガミメディクス株式会社が医療用検査機器大手のシスメックス株式会社と協働。ドラッグストア店舗を利用した新たな健康支援サービスを開始。
→詳しくはP6をご覧ください。
- 9月**  新潟県内店舗数NO.1の株式会社コダマと業務提携。相互の店舗ネットワークを活用し、事業の効率化を推進。
→詳しくはP6をご覧ください。

 株式会社セイジョーが介護事業の強化に向けて、タカラビルメン株式会社の100%子会社タカラケア株式会社の全株式と、タカラビルメン株式会社の保有する介護関連施設の取得契約を締結。

業務提携や協業など、さまざまな形で 事業エリアと提供サービスを拡大し 「次世代型ドラッグストア」を目指してまいります。



代表取締役社長
塚本 厚志

消費低迷と改正薬事法による逆風の中で、
増収増益を維持。

新型インフルエンザの流行による特需が発生。

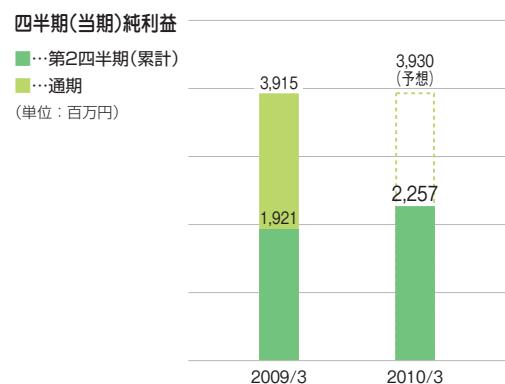
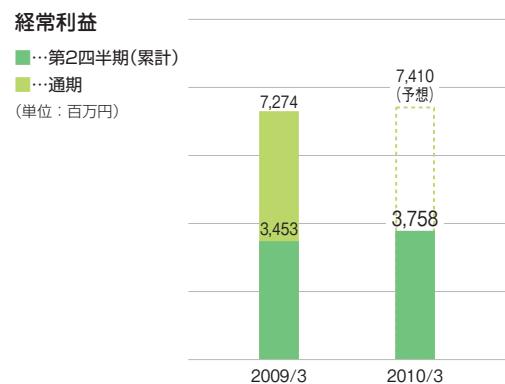
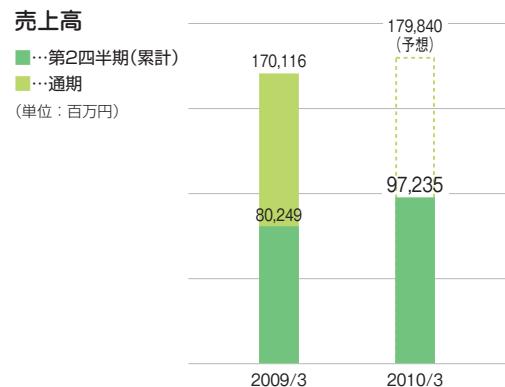
当社グループでは、経常利益率の向上を大きなテーマとして、2013年3月期における連結売上高2,500億円・連結経常利益150億円という中長期目標の達成を目指しています。結果としてこの第2四半期の業績は、前年同期に比して増収増益を達成していますが、経営効率の点では、まだ統合シナジーを十分に出し切れていないと感じています。

当第2四半期における既存店の状況は、売上高が前年同期比でプラス3.2%、客数もほぼ同様の増加を示しており、景気の悪化による消費低迷下においては、好調を維持していると言えるでしょう。業績を押し上げた要素としては、新型インフルエンザの流行による特需的な売上増がありました。感染に対する防衛意識の高まりを背景に、薬局ビジネスの存在感やヘルスケアの必要性がお客様により認知され、特にカウンセリング重視の運営を行っている当社グループの店舗に対しては、「頼りになる存在」というブランド感が、お客様の中で確立されつつあると思います。

その一方で、改正薬事法による規制強化の影響はマイナス要素となり、第1類医薬品が売上減となるなど、ダメージを受けました。

出退店につきましては、23店を新規出店、7店を退店し、当第2四半期末現在で656店舗となりました。この出店ベースは、通期計画に対してやや前倒しで進んでいます。

これらの新店による増収効果も寄与した結果、当第2四半期の連結業績は、売上高97,235百万円(前年同期比21.2%増)、営業利益1,885百万円(同4.8%増)、経常利益3,758百万円(同8.8%増)、四半期純利益2,257百万円(同17.5%増)となりました。



商材面を中心にリージョナルチェーンとの協業を開始。提携先の個性を活かし、広域化の中で応用。

一方、国内においても提携・協働による事業拡大の取り組みを積極的に進めています。

9月16日には、新潟県を中心にドラッグストアチェーンを展開する株式会社コダマとの間で業務提携契約書を締結し、商品仕入の共同実施やPB商品の相互供給など、商材面を中心とする協業を開始しました。ドラッグストア業界におけるナショナルブランド商品の販売比率は9割を超えており、医療と経済性の融和を目指すビジネスモデルとしては、規模拡大による効率化を追求せざるを得ません。資本関係による結び付きではなく、お客様に対するメッセージの伝え方や、商品販売におけるターゲットに近い企業と提携することによって、この経済効率を確保していく考えです。

当社グループは、「WINグループ」を中心にそうした結束を固めていく方針であり、今回の株式会社コダマとの提携もその一環です。そこにはエリアの拡大も含まれていますが、重要なことは、ナショナルチェーン志向によるリージョナルチェーンの支配ではなく、それぞれのリージョナルチェーンのエリア特性やローカルな情報・ノウハウに基づく個性を活かし、広域化の中で応用していくことです。そして、当社グループと提携先企業の双方が、Win-Winの関係のもとに発展していくことを目指します。

店舗における健康支援サービスの提供をスタート。在宅医療・介護分野もさらに注力。

次世代型ドラッグストアビジネスの構築に向けたサービスの拡張についても加速させています。

セガミメディクスは、9月18日より、シスメックス株式会社との協働による健康支援サービスの提供を開始しました。これは、血圧・脈波・体脂肪やヘモグロビン推定値などの測定結果から健康状態を分析・視覚情報化するシスメックス株式会社のシステムを、セガミメディクスの店舗向けに改良し、導入するものです。これにより、お客様に対して健康状態や食生活に関するアドバイスを提供し、セルフメディケーション

のお手伝いをします。そうした専門家集団ならではの職能として、今後は登録販売者や薬剤師だけでなく管理栄養士の資格取得者も増やし、栄養学の観点から適切な助言を提供できるようにしていきます。

また、10月1日には、セイジョーが介護施設運営のタカラケア株式会社を買収し、全株式と茨城県龍ヶ崎市の介護施設を取得しました。当社グループの収益における在宅医療・介護分野の貢献度はまだ小さいですが、近年ますますニーズが高まる介護事業とドラッグ医療ビジネスの融和を社内で完結させ、地域医療の密着化に対応したビジネスモデルの構築に力を注いでいきます。なお、当第2四半期末現在の当社グループにおける在宅医療の患者数は374名で、2013年3月期には売上高20億円の確保を目指しています。

ロシアと中国に市場を求め、日本型ドラッグストア事業の現地展開に向けて踏み出した第1歩。

経営上のトピックとしては、少子化による国内人口の減少を見据え、将来におけるヘルス&ビューティーケア市場の拡大を目的として、2つの海外事業をスタートしました。

1つは、セイジョーの出資により8月3日、現地に合弁会社を設立した、ロシア・ウラジオストク市におけるドラッグストア関連事業です。日本から近距離にある極東・シベリア地域で、日本製品の輸入・卸販売を展開するもので、今後は合弁先である現地企業店舗のドラッグストア化を促進したり、新規出店に関わるといった形で市場参入していく考えです。この地域には日本型ドラッグストアのような物販店がなく、人々の健康志向が高まっている中で大きなポテンシャルを持つビジネスと捉えています。

2つ目は、セガミメディクスによる中国でのドラッグストア事業への参入です。これは、中国・上海市で薬局11店舗を展開するスマイリング社の親会社であるサモアバイオ社にセガミメディクスが出資する形で行いました。この資本提携により、スマイリング社店舗のうち1店がセガミメディクスのノウハウを導入して全面改装され、11月10日にリニューアルオープンしました。この中国第1号店は、日本型ドラッグストアを中国で展開していく上での試金石であり、その結果を見て今後の参入規模を見定めていきたいと思っています。



事業内容そのものが持つCSR活動的側面を自覚し、役職員一丸となって邁進してまいります。

当社グループは、株主の皆様に対する安定的な配当の維持に努め、業績拡大により、より一層充実させていくことを利益還元の基本方針としております。当期は、1株当たり50円の期末配当を実施させていただく予定です。

また、株主優待制度として年に1度、当社グループ店舗でご利用いただける「お買物優待券」を贈呈しております。ぜひお近くの店舗でのご利用を賜り、お客様の視点から当社グループの事業に接していただきたく存じます。

今後、急速に進行していく超高齢社会において、当社グループ事業の存在価値は、ますます高まっていくと思います。人々の健康生活の維持をお手伝いし、より快適な社会づくりに貢献する当社グループ事業は、事業内容そのものがCSR(企業の社会的責任)活動としての側面を有していると言えます。その公益性の高さを自覚し、役職員一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き長期的なご支援を賜りますよう、よろしくご願ひ申し上げます。

グローバルに、そして多方向に広がっていく「次世代型ドラッグストアビジネス」の展開

今、ココカラファインホールディングスグループは、企業成長コンセプトである「次世代型ドラッグストアビジネス」の実現に向けた動きを加速しています。

海外事業展開

成長市場を求めて中国とロシアでのビジネスをスタート

日本企業初! 中国ドラッグストア事業に進出

セガミメディクスは、中国・上海市に薬局11店舗を営業するスマイリング社を通じて、日本企業としては初の中国におけるドラッグストア事業を展開します。

急速な経済成長を続ける中国では、医薬品市場・化粧品市場ともに15%以上の伸びが予想されています。しかし、チェーン薬局の経営は約10年前から始まっているものの、ドラッグストア業態への転換については、まだ模索段階です。セガミメディクスは、現地における新規出店や既存店舗の改装、商品供給、販促支援などのノウハウを蓄積し、中国市場の消費動向に対応しながら、ドラッグストア業態の確立を図ります。

具体的な投資スキームとしては、スマイリング社株式100%を保有する投資会社を通じて出資を行いました。

日本製品の輸入販売を目的に ロシアに合弁会社設立

新興国として近年著しく発展したロシアでは、消費の拡大余地が依然高く、特に地理的に日本に近い極東・シベリア地域では、日本製品が大いに普及する環境が整っています。

セイジョーは、ロシア・ウラジオストク市に設立した合弁会社 SEIJO FAR EAST LTD.(SFE)を通じて、ドラッグストア関連の日本製品の輸入販売を行います。同時に、現在パートナーである極東・シベリア地域における化粧品・日用品卸の最大手であるDIXI CO.,LTD.の小売部門に対する販売促進の指導を通じ、現地における小売事業、ドラッグストア事業への参入を検討していきます。

合弁はセイジョーとDIXI社、現地貿易に実績のあるイービストレード株式会社(日本)の3社により行われ、出資比率はセイジョー34%、イービストレード株式会社17%、DIXI社49%となりました。



国内事業展開

協働・業務提携により、サービス内容とエリア拡大を推進

シスメックスとの協働による健康支援サービス

セガミメディクスが2007年に開始したPET/CT検査の紹介業務は、現在ココカラファイングループおよび提携先ドラッグストアチェーン約800拠点に広がっています。こうした健康診断・検診関連ビジネスをさらに拡大すべく、セガミメディクスは、臨床検査機器・検査用試薬メーカーのシスメックス株式会社との協働により、新たな健康支援サービスを開始します。

シスメックス株式会社は、生活習慣や栄養バランスなどの設問への回答と、血圧・脈波・体脂肪やヘモグロビン推定値などの測定結果から健康状態を分析し、情報提供するシステムを構築しています。これをセガミメディクス向けに改良してドラッグストア店舗に導入し、カウンセリング機能を活かして、お客様に新たな健康サービスを提供していきます。



提携企業の概要

商号	シスメックス株式会社
本社所在地	神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1
代表者	代表取締役社長 家次 恒
資本金	8,685百万円
設立年月日	1968年(昭和43年)2月
事業内容	臨床検査機器、検査用試薬、関連ソフトウェアの開発・製造・販売

業務提携により新潟エリアをネットワーク化

当社は、新潟県を中心にドラッグストア「くすりのコダマ」85店舗を展開する株式会社コダマとの間で、業務提携を締結しました。

これまで当社、株式会社コダマおよびセイジョーの3社は、商品仕入に関する情報交換・共同実施、PB商品の相互供給、共同販促、調剤システムの共有化等について、相互の事業効率化を実現するための検討を重ねてきました。その結果、当社グループの店舗運営ノウハウと株式会社コダマの新潟エリアにおける店舗ネットワークを活用し、店舗事業の強化・他社との差異化戦略を推進していくことが両社の発展・企業価値向上に寄与すると判断し、業務提携の締結に至ったものです。

これにより、今後株式会社コダマで取り扱う商品については、その大半が当社の卸業務を通じた供給となります。

提携企業の概要

商号	株式会社コダマ
本社所在地	新潟県新潟市西区大野町3269番地
代表者	代表取締役社長 児玉 勇雄
資本金	90百万円
設立年月日	1869年(明治2年)9月
事業内容	医薬品・化粧品・日用雑貨の販売



資産合計

当第2四半期末における資産合計は、80,335百万円となり、前期末に比べて653百万円増加いたしました。主な要因は、現金および預金663百万円、建物および構築物(純額)が190百万円減少したものの、有価証券800百万円、流動資産の「その他」452百万円(主に前払費用等)、敷金および保証金136百万円、投資その他の資産の「その他」が170百万円(主に投資有価証券等)増加したことによるものであります。

負債合計

当第2四半期末における負債合計は、36,240百万円となり、前期末に比べて631百万円減少いたしました。主な要因は、支払手形および買掛金が1,691百万円増加したものの、短期借入金1,700百万円、未払法人税等が419百万円、負のれんが583百万円減少したことによるものであります。

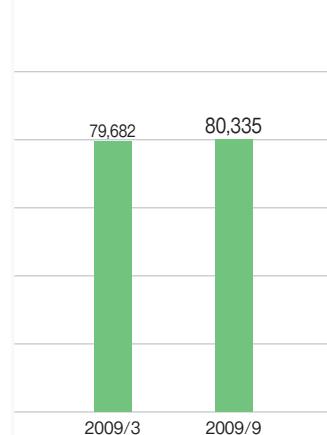
四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

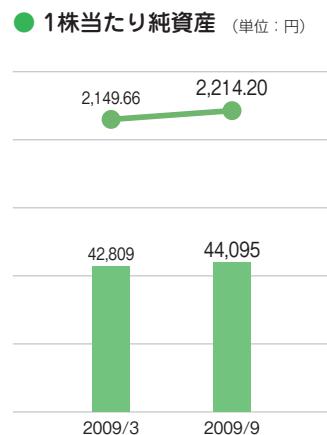
科目	当第2四半期 (2009年9月30日現在)	前 期 (2009年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	44,691	44,124
固定資産	35,643	35,557
有形固定資産	17,985	18,160
無形固定資産	1,315	1,362
投資その他の資産	16,342	16,034
資産合計	80,335	79,682
負債の部		
流動負債	28,954	29,157
固定負債	7,286	7,715
負債合計	36,240	36,872
純資産の部		
株主資本	44,018	42,756
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	23,985	24,980
利益剰余金	19,046	16,789
自己株式	△13	△13
評価・換算差額等	76	53
その他有価証券評価差額金	76	53
純資産合計	44,095	42,809
負債・純資産合計	80,335	79,682

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

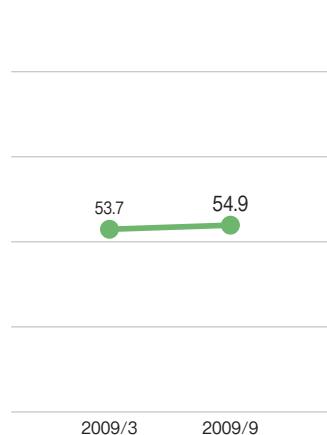
■ 総資産 (単位：百万円)



■ 純資産 (単位：百万円)



● 自己資本比率 (単位：%)



四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
売上高	97,235	80,249
売上原価	73,188	57,455
売上総利益	24,046	22,793
販売費及び一般管理費	22,160	20,993
営業利益	1,885	1,799
営業外収益	1,954	1,742
営業外費用	82	88
経常利益	3,758	3,453
特別利益	1	1
特別損失	218	392
税金等調整前四半期純利益	3,541	3,062
法人税等	1,284	1,141
四半期純利益	2,257	1,921

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

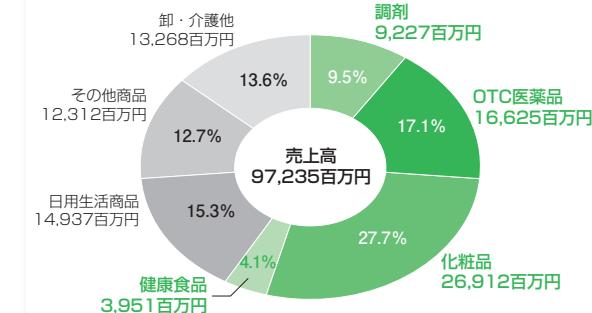
科目	当第2四半期(累計) (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	前第2四半期(累計) (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,967	54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,107	△1,342
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,733	△184
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	126	△1,472
現金及び現金同等物の期首残高	10,707	3,097
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	—	7,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,834	9,245

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用された資金は、1,107百万円(前年同期比17.5%減、前年同期1,342百万円の支出)となりました。これは主として新規出店等による有形固定資産の取得による支出522百万円、敷金および保証金の差入による支出462百万円があったものの、増加要因として敷金および保証金の回収による収入178百万円があったことなどによるものであります。

品目別売上高



調剤・OTC医薬品は、改正薬事法による店舗レイアウト変更などの売場対策、カウンセリングなどによる付加価値商品の増強や調剤事業の好調により、売上高は25,853百万円(前年同期比5.0%増)となりました。化粧品につきましては、高価格帯から中価格帯への移動トレンドを押えることにより、売上高は26,912百万円(同1.5%増)となりました。またその他商品につきましては、マスクなど新型インフルエンザ関連特需の影響が大きく、12,312百万円(同21.9%増)となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、3,967百万円(前年同期比7,166.0%増、前年同期54百万円の収入)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が3,541百万円に対して、主な増加要因として非資金費用である減価償却費およびその他の償却費の計上が993百万円、仕入債務の増加が1,691百万円あったものの、減少要因として法人税等の支払額が1,773百万円あったことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用された資金は、2,733百万円(前年同期比1,383.9%増、前年同期184百万円の支出)となりました。これは主として、配当金の支払額995百万円と短期借入金の減少における1,700百万円の支出があったことなどによるものであります。

会社概要

名称	株式会社ココカラファイン ホールディングス
事業内容	ドラッグストアチェーンの運営等を行う子会社およびグループ会社の経営計画・管理・仕入ならびにそれに付随する業務
本社所在地	〒143-0016 東京都大田区大森北1丁目18番18号
本店所在地	〒143-0023 東京都大田区山王2丁目1番7号
本部所在地	大森本部 〒143-0016 東京都大田区大森北1丁目18番18号 府中本部 〒183-8539 東京都府中市美好町2丁目12番2号 大阪本部 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2丁目7番30号
設立日	2008年4月1日
資本金	10億円
従業員数	2,813名

役員

代表取締役会長	瀬上 修	常勤監査役	竹本 雅俊
代表取締役社長	塚本 厚志	監査役	小菅 泉
取締役	上田 清	監査役	関口 要蔵
取締役	齊藤 正人		
取締役	濱野 和夫		
取締役	橋爪 薫		
取締役	重田 陽平		
取締役	鈴木 芳孝		

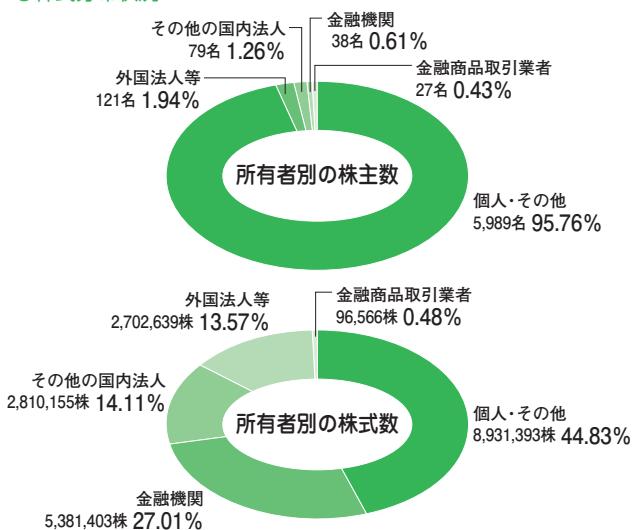
株式の状況

発行可能株式総数	79,687,000株
発行済株式の総数	19,922,156株
株主数	6,254名

●大株主

大株主名	持株数(株)	持株比率(%)
齊藤正人	1,759,248	8.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(管理信託口)	1,683,240	8.44
セガミ不動産株式会社	1,135,920	5.70
ココカラファイン従業員持株会	756,900	3.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	691,900	3.47
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリユーエス タックス エグゼクティブドベンション ファンズ	602,000	3.02
第一三共ヘルスケア株式会社	583,349	2.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	552,500	2.77
ザバンク オブ ニューヨークー ジャスティック ノントリーディー アカUNT	416,670	2.09
齊藤昭子	414,632	2.08

●株式分布状況



(注)株主数・株式数には自己株式(1名/7,486株)を個人・その他に含めております。

関東以西、幅広い地域をカバーし、それぞれの地域特性に応じた店舗展開を推進しております。今後も、ドラッグストアや調剤専門店を中心とした出店を行うと同時に、M&Aやアライアンスを活用し、積極的にエリア戦略を進めてまいります。

店舗数の推移 (単位:店)

